

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西宮市立甲陵中学校（兵庫県）【指定校】

【取組内容】 教科の特性を活かすためのクラウド利用（社会科）

ジグソーでPowerPointを共有した学習

1年組 班

「聖徳太子の死後何があったのか」
～相次ぐ殺人事件～

A聖徳太子の死後の暗殺事件 1

山背大兄王 643年

聖徳太子の子供、山背大兄王は蘇我氏(蘇我入鹿)に疎まれていた跡継ぎ争いの発生(殺害した人)。山背大兄王は、妃妾など一族とともに自害した。なので聖徳太子の家族が全滅。聖徳太子一家全滅事件

C政治改革

天皇の下、鎌足や、中国から帰還した留学生や僧などの協力で新しい支配の仕組みを作る改革
公地・公民(天皇の物)として国家が直接支配する方針また、これを大化の改新という

B暗殺事件 2

・強大な唐を前に日本では国の力をまとめる必要が出てきたが、朝廷では蘇我氏が独断的な政治を行い不満が高まっていた。
-645年、中大兄皇子は、中臣鎌足(のちの藤原鎌足)らとともに蘇我蝦夷、入鹿の親子を滅ぼした。一乙巳の変

D新たな外交問題

唐が新羅と手を組み百済をほろぼす→中大兄皇子が百済の復興を助けようと大軍を送る。結果 唐と新羅の連合軍に大敗した。(白村江の戦い)
唐や新羅の侵攻に備えるために西日本の各地に山城(大野城、水城)を築いた。

こだわりのあるExcelシート

蒙古襲来 本日の流れ		○組 第06 名前			
		担当席	担当席	担当席	担当席
		資料1「10万の字紙の内容」		資料2「三浦抄からの字紙の内容」	
1)資料1と資料2を入手し読み取り、要約する。 高麗の使者(1268年) →元からの手紙(1268年) →高麗の軍隊からの手紙(1271) →元からの使者(観魚卿)(1274) →1274年頃に1年ほど大宰府で滞在	1)4分 2)3分				
2)4人て.....					
3)幕府の対応を批判的思考で分析する	3)2分	OO幕府(北条OO(OO)の対応)は、これらの手紙に封し、OOOOという態度であった。			
4)自分が権者ならどうするか、フォームで解答する	4)3分	「君が権者ならどうする?」フォームで回答する			
5)「フォーム」と「学習帳のそれぞれの考え」を参考に「自分の考え」を再構築して書き出す	5)6分 6)3分	フォームを見てそれぞれの考えを上映してください			
6)学習帳の他者の意見を批判的思考で分析する		モンゴル軍の情景			
7)家康の回にわたる戦いを教科書p76、77の資料集を読み取り、箇条書きで要約する。	7)4分 8)1分	2 ページ			
8)どうすれば元寇を防止できたか、自分の考えを打ち込む	7)3分 8)2分	日本側の情景			
9)興味のあること、調べてみたいこと、調べた事、再調査、疑問、行動目標		「どうすれば日本を守れたか?」学習帳で協議の上、自分の考えを書き込む			

クラウド環境を利用し、教科の特性を活かすための工夫が多くみられた。ジグソー学習法や反転学習を取り入れた授業など試行錯誤しながら授業を進めた。

結果として、生徒の情報活用能力の育ちと能動的に学ぶ姿勢が養われていくと同時に、教師によるこだわりのあるExcelシートが準備され、深い学びにつながっていた。

また、生徒が見通しを持てるように単元のゴールを示し、単元計画等を生徒と共有することで、見通しを持って学習が進められていた。

単元や1時間の流れを生徒と共有

時間	武士の成長 本日の流れ
1 10分	教科書 p 65, 65の資料を読み取り、武士がどう成長したか、仮説をたてよう! ①教科書資料の読み取り、書き込み、印付け ②交流しながら追記
2 15分	成長の過程を→を使って表現 ①武士の誕生から、武士団の形成、棟梁の出現など、順を追って表現しよう ②交流しながら追記
3 5分	武士の成長を文章で表現しよう
4 5分	時間が余った人は色々調べてみよう

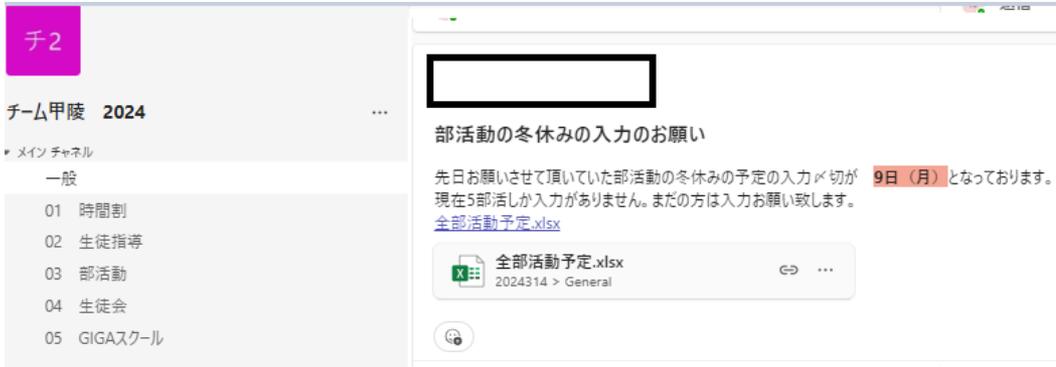
単元を貫く課題を提示して、1時間の流れを生徒と共有をすることで、自走して学習を進められる手立てとなった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西宮市立甲陵中学校（兵庫県）【指定校】

【取組内容】クラウド環境（Teams）を活用した業務改善

校内掲示板をTeamsで共有（クラウド利用）



学校・学年の情報共有をTeamsを使うことで、いつでもどこでも閲覧・編集をすることができる環境を整えた。校務分掌表とチャンネルの階層を同じにすることで、今までのフォルダ管理と同じ感覚でクラウド環境を利用することができた。

今年度より試行として、学年の情報共有をTeamsで行った。一時的に、Teamsを使う学年と今まで通り対面での打合せで行う学年のどちらが効果的かを検証した。情報を共有するという点で、クラウド環境を利用する方が、打合せ時間が短く済み、時間的な余裕が生まれた。ただ、個人情報扱う内容の取扱いについては、課題が残った。

山梨大学三井准教授や西宮市教育委員会の指導主事に助言をいただく際に、オンライン会議を多く利用した。直接、会場に来ていただく方が効果的ではあるが、日程調整等のことも考えると、校務改善につながった。

道徳の授業を担当以外の教員がする際、授業案の検討や事後報告でもWordを共有して教科研究を進めた。

授業研究の事後指導をオンラインで



道徳 ローテーション授業の交流

第2学年 道徳指導案

1日時：

2ねらい：自立の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任を持つこと。

3内容項目：A-(1)

4教材：明日への扉「父との約束」P70

5展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	誰かと約束したことをずっと守ることができることはありますか。また、守れていないことはありますか。	発表時、守れていないことについては、その結果どうなったのかを尋ねる。また、その結果を予想していたのかを尋ねる。
	・ゲーム、インターネットを使用する時間 ・給食セットや手紙をその日に出す	
	松井秀喜の紹介 PP を見る。	答えられそうな生徒がいればクイズ形式にする。
	明日への扉 P70～74「父との約束」を読む。	
	【発問①】松井選手が中学二年生の時、どのような気持ちで悪口を言ったのだろう。	自分が悪口を言う場合、どんな気持ちなのかを考えさせる。
		また、悪口を言ったことでどのようなことが起

前に立っは気づきにくいですが、教師の話を開きながら生徒もいろいろ考えている様子が見られました。

@メンション または返信

発問が偶然として答えにくいと思っていたが、生徒はいきなり話し合いができていいなと感じた。

@メンション または返信

共同編集で回答させることで、みんなの意見を参考にしやすい。しかし、しっかり自分の意見を考えている子と、「タブレットが起動しないなど、タブレットの作

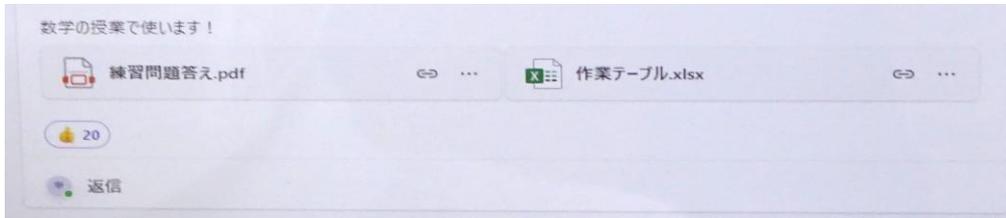
@メンション または返信

リーディングDXスクール事業【実践事例】

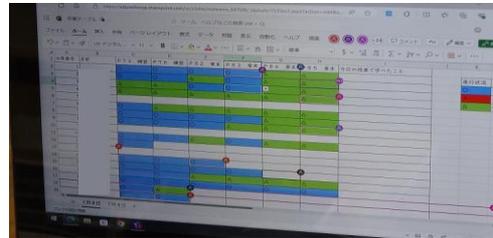
西宮市立甲陵中学校（兵庫県）【指定校】

【取組内容】 端末を活用した生徒を主体とする学びへの取り組み

学習の進捗をリアルタイムで共有し進捗を管理



Excelシートを使い、進捗をTeamsで共有。教師・生徒を問わず進捗を確認することができる。生徒間で進捗を管理することで、学び合いが生まれる場面も見られた。



進捗管理表をもとに生徒同士で学び合い



【教科】 中学1年 数学

【教材名】 文字式の計算

【活用ツール】 Microsoft Teams・Excel

Teams上に問題の答えや進捗管理表を共有することで、生徒が自分の進捗で学びを進めることができた。また、誰と学ぶかの指導を丁寧に行うことで、考えの違う生徒と意見を交流したり、その教科が得意な生徒に質問をしたりすることで、誰と学ぶかを自己選択することができるようになっていた。

必要に応じて教師が支援を行う

